



駅前「千代」像



大泊「金比羅さん」参道 H15.12完成 撮影 H15.12.22

新年おめでとうございます。町民各位におかれましては、不透明感の漂う厳しい時代ではあります。心新たに清々しい新春を迎えたいと思います。

昨今は皆様の生活に直結するあらゆる選挙の年でありました。県議・町議選出の統一地方選、町の将来の存亡を左右する市町村合併に関する住民投票、そして衆議院議員選挙と選挙疲れをきたしそ々に続きました。中でも市町村合併に関する住民投票は、厳しい選択であり、私にとりましても荒波の中に小舟で漕ぎ出すような心境でした。町民の皆様の選択は厳しいながらも合併をせず、小さくともキラリと光る津奈木町を守り、より充実させることでした。私の町政に対する

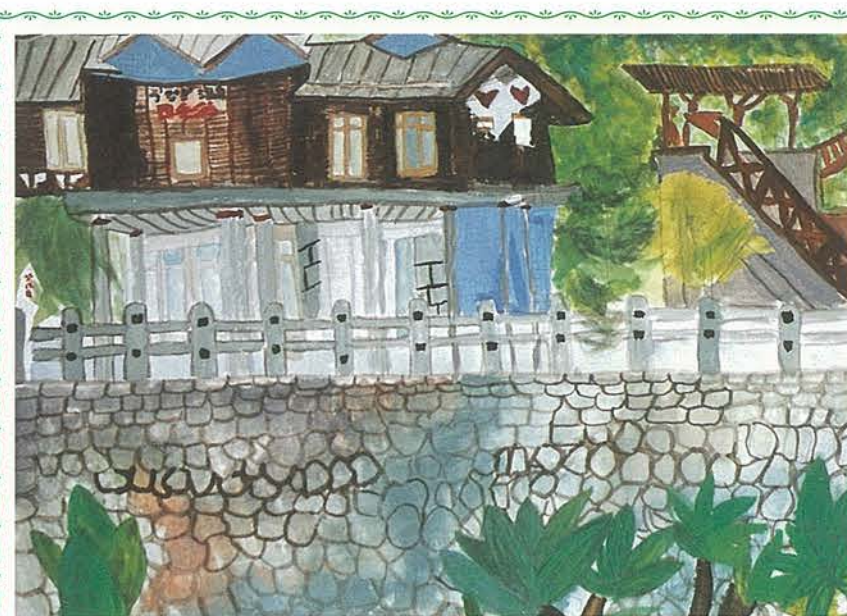
**地育力を
伸ばそう!!**



町長 西川 裕

思いや信念が皆様に分っていただけたことに深い感動を覚えました。しかし、それと同時に大変厳しい道を選んだのも事実です。第二、第三の合併の圧力は続くでしょう。ならばこそ、町民の皆様が本心にこの町を愛し、お互いに出来ることは責任を果たし行政改革を進めてゆかねばなりません。その根底には津奈木町という郷土への町民皆様の深い愛と誇りが、存在し続けなければなりません。私は全精力をつぎ込んで、お任せいただいた町の舵取りを果たしたいと思っています。少子高齢化の波は津奈木町にも押し寄せています。よりきめ細かい小回りのきく行政サービスが求められています。全てを公の仕事に転嫁せず、お互い自助努力することがこれからのキーポイントになっていくと思っています。しかし、そのこの実現には温もりのある、お互いが助け合える豊かな地域社会が必要です。地域力と言って良いかもしれせん。

素晴らしい津奈木ネットワークを充実させることが、将来の津奈木町の命運を握っていると信じます。



子ども美術館(23)
文化協会奨励賞(平成十五年度)

津奈木中三年 山崎真莉子

私は毎朝四季彩の前を通って通学しています。小さいときからよく見ているので、とても親しみがあります。だから私は、四季彩を題材に選びました。

工夫した所は岩の色です。いろんな色がこの岩から見えてきたので、このように表現してみました。

お知らせ 成人式御案内

日 時：平成16年1月3日(土)
午前10時～12時まで

場 所：つなぎ文化センター

受付時間：午前9時30分から午前10時
(受付はお早めをお願いします)

※成人者のみなさん、ぜひご参加下さい。

親子「たこあげ」大会

参加者募集

●日時 平成16年1月18日(日)
午前10時から12時まで

●場所 津奈木総合グラウンド
(いろんな賞を準備しております。)

三太郎駅伝 候補選手名		(一般の部)		(中学生の部)	
監督	コーチ	団 長	候補選手	男 子	女 子
村上 義廣	鶴野 賢二	宮嶋 弘行・松永 進	川野 又男・林田 佑一	古本 俊二・山崎 貴大	山本 翔太・川野健一郎
		福田 必・森山 広行	松永 清・田口 伸二	山崎孝次郎・林田 有平	福山 靖久・松田 啓輔
		倉野 良二・平野 新市	長濱 悦二・吉澤 健一	松田千恵美・濱田 美里	福田 康孝・山本 大貴
		斉藤 拓己・諫山 信久	竹本 昌広・門崎 功晃	柳迫 晴菜・林田 恵理	河合 美咲
				荒竹 寛代	久村りえ子・宮田 有紀
				マネージャー	新立 司
				開田 龍一・農原由二郎	堀田 将豊・福田 晃一
				山路伸一郎・石田 博範	新立 司



夜間練習の様子

(本町通過予定時刻)	
総合グラウンド前	10時30分
新川橋	10時33分
中学校前	10時37分
千代斎魂碑前	10時45分

第五十四回熊日三太郎駅伝大会(一月十一日)は、本町が担当主管になっていますので事務局は準備に奮闘中です。

また、選手は上位入賞を目指して走り込みを続けてきました。合同練習が夕方の六時半から始まり、最近では冷え込みも厳しくなりました。しかし、グラウンド三十周(一万二千M)の練習を終える頃には汗びっしょりです。

練習の成果が、いい結果につながることを願っています。

編集後記

明けましておめでとうございます。

昨年は、暗い話題が多かったように感じますが皆様は如何だったでしょうか？ 未曾有の集中豪雨による被害、異常気象等々。心身共に大変だったことでしょう。また、後半になるとイラク問題等々挙げればきりがない程でしたね……。

今年こそは「心機一転」して健康で楽しい年にしたいものです。

編集委員一同



高円宮杯全日本中学校
英語弁論大会出場
津中三年 乗田一恵さん



世界一の大梵鐘

社会探訪

今年度の「あけぼの大学」の社会探訪は津奈木校区でした。三十名全員揃って研修に出発することができました。好天気に恵まれ素晴らしい研修日和でした。

最初は、玉名市「蓮華院誕生寺奥之院」に着き早速、寺の案内で境内に入って世界一の大梵鐘の前で説明。皇円大菩薩の念佛を唱えました。この寺の特徴は「一願成就」の寺で檀家をもたないというお寺もめずらしいと思います。

次の目的地は「田原坂公園」。案内人松井ボランティアの懇切丁寧な説明。ここでは明治時代ということと身近な西郷隆盛、熊本城といった話題が豊富でした。田原坂「田原坂」といっているのどんな坂かと思っていたら狭い山坂の道でした。

(東京)では、南部日本地区(九州・四国)四十校のうち七校(全国では一五二校中二十七校)に選抜され決勝大会に進出を果たしました。入賞はできませんでしたが、すばらしい成果を残しました。

「本人からの感想」

「日本中の代表者の中ではとても小さな存在である。努力を続けられれば夢はかなう」



私の人生観を変えた「前世療法」

この本は、マイアミ大学附属病院の精神科首席教授

「西南の役」には相当な難所だったらしい道路の両脇が迫っているのが攻め込むのも大変だったらしい。その時期は雨が降りつづいたといわれています。慰霊塔には、官軍、薩軍の名前が



マイアミ大学
附属病院の精神科
首席教授

学会でまだ認められていない情報を公表する勇氣に感動させられました。

筆者は、冒頭のプロローグで、次のように述べています。「殆どの精神科医やセラピスト達は、肉体が死んでも魂は生き続けるということや過去の記憶などについて数多くの証拠を調査することはおろか、評価することさえも拒否している。私がこの本を書いたのは、心霊の分野、特に生まれる前や死んでからの魂の体験に関する研究に、少しでも貢献する為である」と。

若い頃読んだ「科学的唯物論」の影響もあり、前世の存在とか輪廻転生とか死後の世界など真剣に考えたことのなかった私にとって実に衝撃的な本でした。

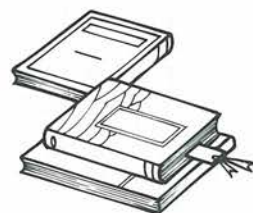
「人間とは何か」「何の為に今世を生きているのか」答えを得られたような気がしています。

(平小校長 祝迫秀博)

読書感想文 「変身」を読んで

津奈木中一年 福田 康孝

この作品は、虫になった主人公に目をとられがちですが、むしろこの家族の変身のほうがとてもおもしろいと思いました。このカフカの『変身』は、そんな皮肉でおかしな小説であると思います。



祝成人 津奈木町の再興は我々の手で!!

地区	氏名	地区	氏名	地区	氏名	地区	氏名
竹中	松上 竜也	新川	川崎 正敬	川内	西平 葉輔	日当	岩崎 平
	濱田 沙織		村上 いく枝		下川 麻紀子		吉野 里佳
	林田 麻起子		小出 恵理子	福浦	福山 あい	日添	篠原 陽治
	岡本 舞		山下 希		福山 志乃		上村 太志
	上野 絵里	古川	野島 幸夫		福山 喜久		濱本 吏
	濱田 聖子		宮島 由衣	平国上	平野 美香		松永 雄一郎
	溝口 望	大泊	新立 博		野崎 孝祐	小津奈木	山田 宗一郎
染竹	宮嶋 加保里		中野 将吾		村嶋 和仁		永田 さやか
	黒田 直幸		柳 迫美帆		村上 あすか		永田 理恵
	野田 美聡		新立 尚美	平国下	遠山 愛美		江口 克志
	井上 征彦		新立 大輔		長濱 まどか		折木 祐一
浜崎	宮本 秀俊		末廣 絵磨		村上 亜由美		徳田 泰裕
	田嶋 七恵		新立 麻衣子		長濱 佑宜		岡本 未生
	溝部 ゆかり		淵田 明日香		野崎 峰代		白坂 美穂
	須田 峰佳		眞野 晋子		野崎 たかえ	辻	森本 春菜
	迫川 美帆	中尾	農 添祥市		山口 卓丸	岡	池上 麻衣
桜戸	齋藤 美佳		浦田 昌宏		村上 美幸		下川 卓
	本田 秀美		竹田 瑛典	日当	伊藤 貴紀		新立 司
	笹田 明仁		山口 幸七		林田 賢佑		永田 美香
	山崎 慎一郎	古中尾	山本 北斗		平田 利男		中村 久美
	山下 政史	倉谷	松永 絵美		松田 和		淵上 麻美
	澤井 知美	内野	大川 大樹		岩崎 希		新立 江利子
町中	財部 優子	上下門	宮森 康薫		伊藤 敬介		
新川	濱本 朋美		齊藤 かほり		岩崎 明宏		

※この名簿は中学校卒業名簿を参考に作成しました。
※町内在住者については、H15.11.1現在の住所を記載しました。

成人になって私の決意

成人を迎えて多くの人に感謝したい。無事成人を迎えられたのも多くの助けがあったからだと思う。高校を卒業し、社会人となり仕事を始めたが、初めのうちは、一人ではなにもできなかった。なにもできない私に、わかりやすく仕事を教

成人を迎えて多くの人に感謝したい。無事成人を迎えられたのも多くの助けがあったからだと思う。高校を卒業し、社会人となり仕事を始めたが、初めのうちは、一人ではなにもできなかった。なにもできない私に、わかりやすく仕事を教



岩崎 希さん



山口 卓さん



新立 司さん



宮嶋加保里さん

えてくれた人がたくさんいた。今振り返ると、その助けが私にとって、かなり重要だったということに気が付いた。

これからも感謝の気持ちを忘れず、人間関係を大切にして生きていきたい。

私もとうとう成人を迎えてしまいました。成人した実感が湧かない中で何を書こうかと悩みました。

でも、これから先一人の大人として自立し責任をもつて歩めと言うことだろうか、今は正直不安のかたまりです。今までは未成年と言うことでたくさん甘えていたが、これからは未熟でありながらも社会人としての常識やルールを守り、少しずつ一人前の大人へと成長していきたいです。

たくさんの事を見て経験していく中で、一歩ずつ成長出来ると思います。例えばそれが「将来の夢」と違ったとしても、これまで自分が描いてきた「大人の姿」には近付いていきたいです。

「成人」、子供から大人へ。社会にひとりの大人として認められる。自分の行動一つ一つに責任がついてくる。だからよく考えて行動したい。自分のとった行動は自分に返ってくるのだから。そして、もう甘えは許されない。今、私には妻と子という家族がいる。家族を持ち、初めて親の大変さ、偉大さを知った。これからは、家族の大黒柱として、仕事に家庭に頑張りたい。また、思いやりのある気の利く大人になりたい。

着々と実績が挙がる

地区公民館活動奨励補助事業

公民館活動助成事業の一環として取り組んでおられる各地区事業が今年度の分は完了いたしました。今回は赤崎・平国・中尾地区の事業を紹介いたします。なお、川内・古中尾地区の活動は終了しています。

赤崎 将軍さん（十一月四日）



歳の数だけ回ります

「将軍さん」の愛称で親しまれている赤崎の秋まつりは、将軍さんが芸事が好きだったそうで毎年踊りや石を一つずつ置いて願かけを行います。

催し物も多くてプログラムの編成もひと苦労されたようで、カラオケ、大正琴、赤崎太鼓、本格派の舞踊等々盛りだくさんでした。秋晴れの赤崎の里に軽快な曲がこだまして祭りの雰囲気も最高に盛りあがった一日でした。

平国 天子宮さん（十一月九日）

今年の「天子宮さん」は公民館活動奨励の一環として活動に取り組みしました。上村真富区長を中心に、村上磨区長、福田富士男区長の協力で、すすめてまいりました。

祭り気分を盛り上げるかのように、天子宮さんの境内には矢旗が立ち並び、なかでも目に留まったのは「還暦同級会」の幟でした。この会は相当以前から続いて平国の恒例行事にもなっているようです。お宮では奉納相撲や赤ちゃん土俵入りなどがあり、土俵の周りも笑いが一杯でした。健やかな子どもの成長を願っています。



天子宮さん

平国小学校卒業生は「還暦同級会」を例年十一月九日の天子宮さん祭りにあわせて計画されています。今年の幹事は地元の山口正二さんが企画され、この日は何十年ぶりに再会することになります。参加者も町内居住者ばかりで、遠くは埼玉、東京、京都、広島等々から参加される方々は楽しみにして帰ってこられます。

正月またはお盆に同級会を開かれることが多いようですが、平国小の場合は「天子宮さん」という秋祭りにやられることは「まつり」を盛り上げるのにも「二役も二役も」意義あるものと思います。遠くに出

中尾 田ノ神さん（十二月一日）

中尾地区の田ノ神さんは昔から百姓の神様として言い伝えられ、現在でも農業関係者が中心となつて、毎年祭りが行われています。

今年も、田畑で収穫した米、野菜等を神前にお供えして神主さんをお呼びし、神事を行い、来年の豊作祈願をしました。

今年は農家にとって低温日照不足が続き心配しましたが、無事に収穫を終えられたことに感謝をしながら御神酒を酌み交わされました。

今後、地区民の融和と親睦を深める機会として、また、地域文化の一つとして続けられることでしょう。



田ノ神さん

子育て講座

盛況でした

本年度、保健事業のすこやかクラブの一環として、表記講座が展開されています。これは子育て支援を目的として、毎月第三水曜日に改善センター和室で行われているものです。

その第二回目として、十

平国小（未年生まれ）



て生活されている方は、尚更ふるりの秋まつりの雰囲気も充分満喫されることでしょう。話もとぎれる間もないほど盛り上がりかたでした。

次の再会を楽しみにして頑張ろうと誓い合つて散会いたしました。



なお、今後の実施計画は次のとおりです。

今後のスケジュール

第四回（平成16年1月21日）

第五回（平成16年2月18日）

今が一番幸せ

ここに、こんな人が……

船場恵美香さん(69) (上下門)

上門地区にお住まいの船場さんを訪ねました。

庭に接した南側の畑は、大根・白菜などの冬野菜がきれいに手入れされていて仕事の手順の良さを感心しました。

網元に嫁ぎ、三人の子ともさんに恵まれましたが、今日まで平坦な道のはりでは



冬野菜の手入れ

なかったようです。

今から十数年前、三番目の息子さんが、会社勤めが出来なくなる病にみまわれ、どうしたものかと途方に暮れ、何年も悩まれた時がありました。治療のいかあつて、その病気も落ち着き、自分の心に余裕が出来るようになったところ、自分を含め家族のことを考えたときに、同じ病を持つ当事者と、その家族とが組織する家族会があることを知り、参加されました。

「自分にのさつた苦労も、家族会に参加することによって、同じ病を持つ仲間と集い、いろんな人との出会いが、私に元気をもたらしてくれました。今が一番の幸せ。」とこやかに話される船場さんでした。

船場さんを通して、家族会やボランティアの存在の大きさを知ることができま



大会に参加

き、自分の心に余裕が出来るようになったところ、自分を含め家族のことを考えたときに、同じ病を持つ当事者と、その家族とが組織する家族会があることを知り、参加されました。

「自分にのさつた苦労も、家族会に参加することによって、同じ病を持つ仲間と集い、いろんな人との出会いが、私に元気をもたらしてくれました。今が一番の幸せ。」とこやかに話される船場さんでした。

船場さんを通して、家族会やボランティアの存在の大きさを知ることができま

短歌

本郷武雄選

肥後狂句

初詣で

祈願更新あ何べん
こま廻し
たらい廻しの歳暮が来た

初詣で
無事息災を願うだけ
こま廻し
昔話にひんなった

初詣で
振り袖減つたなア
こま廻し
ちゃんかけ技術むづかし

初詣で
さい銭だけはケチられん
こま廻し
子供の頃はスター気分

初詣で
茶髪、和服でしおらし
こま廻し
父さん出来田よ がんばって

初詣で
茶髪、和服でしおらし
こま廻し
父さん出来田よ がんばって

初詣で
茶髪、和服でしおらし
こま廻し
父さん出来田よ がんばって

初詣で
茶髪、和服でしおらし
こま廻し
父さん出来田よ がんばって

初詣で
茶髪、和服でしおらし
こま廻し
父さん出来田よ がんばって

初詣で
茶髪、和服でしおらし
こま廻し
父さん出来田よ がんばって

初詣で
茶髪、和服でしおらし
こま廻し
父さん出来田よ がんばって

初詣で
茶髪、和服でしおらし
こま廻し
父さん出来田よ がんばって

初詣で
茶髪、和服でしおらし
こま廻し
父さん出来田よ がんばって

初詣で
茶髪、和服でしおらし
こま廻し
父さん出来田よ がんばって

人情は東京下町も同じ

緒方 孝光（中尾）



出身の私達も何のこだわりもなく一致協力して祭礼や防災訓練等の地域行事、町会活動に参加して居ました。

また、仲間内ではバス旅行の折など「萩中村さ、けるべー」等ふざけ合う程で仕事関係の知人、地域活動や近隣の人々との付き合いと楽しい日々で、人情は津奈木も東京もその中で暮らすと変わらないものです。

刈り跡の展げて続く出水野を
連れ舞ふ鶴の羽根はひかれり
寺本ツルヲ

ふたたびは訪う日のありや窓に見る
襟裾の葉群舞れやまずあり
野田 浦子

〔次回の笠〕
○桜前線 ○振り返り
一笠一句を二月六日(金)迄
津奈木町教育委員会へ